

製図課題(H21～R2)の項目別分析

(製図試験も**過去問分析**が王道)

- 【項目(1)】 I. 設計条件(前文) ←解説内容
- 【項目(2)】 1. 敷地及び周辺条件
- 【項目(3)】 2. 建築物(1)本文
- 【項目(4)】 2. 建築物(2)要求室一覧表
- 【項目(5)】 3. その他の施設
- 【項目(6)】 4. 計画に当たっての留意事項
- 【項目(7)】 1. 要求図書(2.面積表)
- 【項目(8)】 3. 計画の要点等

設計条件(前文)

前文は、**計画地の環境条件**が書かれている

最初の一文は、「この課題は、・・・」から始まり、下記の**環境条件**が書かれている。その後、計画の目的や主要な施設の説明などがあり、全体として約150～300文字の内容となっている。

H21: 大都市近郊の市街地において、1階に自動車を展示する・・・

H22: ある小都市の市街地の公園の一角に建つ・・・

H23: 大都市近郊の市街地において、病院に併設される・・・

H24: ある小都市の市街地の公園の一角に建つ・・・

H25: 都市近郊の湖畔に建つ・・・

H26: ある地方都市の郊外の溪流沿いに建つ・・・

H27: 中核都市の市街地にあるにぎやかな商店街と公園等の一角に建つ・・・

H28: 中核都市の市街地にある公立小学校及び公園に隣接する・・・

H29: 山間の旧街道沿いに宿場町として栄えていた古い町並みが残る地域・・・

H30: 戸建て住宅を中心とした市街地にあり、廃校となった小学校・・・

R1: 既存の美術館(本館)の隣地に・・・

R2: 戸建て住宅を中心とした住宅地に建つ地域に密着した・・・

地域住民

地域住民は、12年間で8回の出題がある

試験元は、**地域住民**との関係を重視している。特に近年は、周囲地域環境を考慮したうえで、地域住民等との動線も含めた計画まで求められるようになってきている。

H21: —

H22: 地域住民の美術活動の発表の場・・・

H23: —

H24: 地域住民の学習や交流の場・・・

H25: 地域住民との交流の場・・・

H26: 地域住民も利用できる温浴施設・・・

H27: 地域住民も利用できるレストラン等・・・

H28: —

H29: 地域住民と交流を図りつつ・・・

H30: 地域住民が各種スポーツを楽しみながら・・・

R1: 市民のための教育・普及活動として・・・

R2: 地域の人々との交流を図るもの・・・

自然

自然は、12年間で7回の出題がある

自然は、周囲環境に公園、溪流、湖畔などを配置し、それとの関連性を重視するとともに、建物内での自然採光及び自然通風の取り入れを図ることを示唆している。

H21: —

H22: 公園や河川敷などで・・・

H23: 自然光を取り入れて・・・

H24: —

H25: 湖畔に立つ・・・豊かな自然を満喫する・・・

H26: 親水公園や溪流で・・・

H27: 公園などの一角に・・・

H28: 自然エネルギーを利用し・・・

H29: 名峰を望み緑豊かな自然に囲まれた湖畔に建つ・・・

H30: —

R1: —

R2: —

主な要求室

主な要求室は、12年間で8回の出題がある

ここに書かれている**主な要求室**は、この建築物で最も重要な室であると試験元が指摘していることなので、要求室一覧表の要求室と同じ赤マークなどをして重要性を視覚的に認識した方がよい。

H21: 自動車を展示するショールーム、貸事務室

H22: ワークショップ、アトリエ、屋外創作広場

H23: -

H24: 図書館、小ホール、展示ギャラリー、会議室

H25: -

H26: 情報発信等のサービス施設、地域特産品売場、レストラン、温浴施設

H27: 集合住宅(賃貸)、機能訓練室、浴室、レストラン

H28: 保育所、児童館(児童クラブ室)、子育て支援施設

H29: -

H30: 温水プール

R1: -

R2: ユニットケア、通いと宿泊の居宅